

のあり方と考えている。

議員 長野県小諸市では中心市街地活性化の一環で、市庁舎と市民会館を取り壊し、市庁舎と病院を隣接させた。本市でも現市庁舎を取り壊し、そこへ市庁舎と病院を併設してはどうか。
市長 経費等の問題、市民の皆様の意見も考えながら検討したい。

笠岡市立小・中学校規模適正化について

議員 学校規模適正化計画に基づいて、該当小・中学校保護者及び地域住民への説明会が5月からスタートしたが、保護者や地域住民の適正化に対する反応そして理解についてどのように感じたのか。

教育長 地域によって差はあるが、「地域の活性化や定住促進について具体策を提案してほしい。」「小規模校には小規模校ならではのよさがあり、異学年の子

ども達が力を合わせたり保護者や地域が協力したりして頑張っているので統合の必要はない。」「子ども達が新しい学校へ統合された場合、その学校になじめるかとても不安である。」「統合はどうか。」「通学の手段はどうするのか。」「など

のご意見をいただき、より具体的な説明や若干の修正の必要があると感じている。
議員 地元合意を得るまでの時間設定をどう考えているのか。

教育長 提案した内容について、頂いたご意見等に基づき若干の修正をしなければならぬが、基本的には平成29年度から31年度を目途に進めていきたい。

齋藤一信議員



ロタウイルスワクチンの予防接種助成について

議員 ロタウイルスが及ぼす子育て世帯への負担は大きなものであり、同ワクチン接種への公費助成は子育て支援策、または定住促進策といった面からも大きな一手と考えるが、どうか。

市長 ワクチン接種直後の副作用のリスクも確認されており、国の動向を注視し、費用助成には慎重に対応したい。

成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種化について

議員 肺炎球菌ワクチン定期対象者は5歳刻みのため、76歳や86歳の接種高齢年齢層が最大5年間定期接種の順番年を待たため、肺炎に罹患し重症化するリスクが高まってしまふ。今までの任意助成を継続する必要があると考えるが、どうか。

市長 当面国の経過措置期間である平成30年度までは継続していく予定である。それ以降については、今後の国の制度検討を注視し方向性を検討していきたい。

移動式赤ちゃんの駅の導入について

議員 近年、野外でのイベント会場等で乳幼児連れの母親が授乳やおむつがえに自由に使えるようにと、移動が可能なテント等を移動式赤ちゃんの駅として、行政が無料で貸し出す制度が増えている。本市でも取り入れるべきではないか。

市長 子育て支援において大変重要なことであり、先進事例や利用実績を参考に導入に向けて検討していきたい。

笠岡市主導のテレワークの推進について

議員 テレワークとは、情報通信技術を活用し、時間や場所にとらわれない柔軟

な働き方のことである。

本市の市内事業者へのテレワーク推進、また市庁内での推進の考えをたずねる。
市長 国ではテレワークに

取り組む中小企業事業主への支援策を新設していることもあり、企業訪問の機会等を捉えて助成金制度のPRを行っていきたい。
市庁内については現在実績はないが、このような新しい形の就労形態を国も推進しようとしているので、本市においても導入について研究していきたい。

樋之津倫子議員



豊かな教育を求めて

議員 ①市内全幼稚園で3歳児保育が始まって2年目を迎えた。今年の5月は真夏並みの暑さがあり、体温